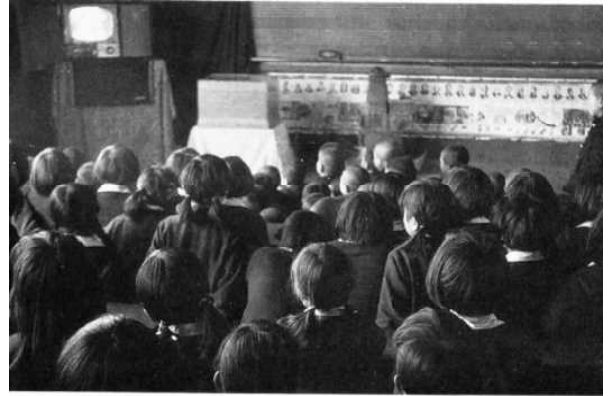


よのこゝ！ 本校の先輩達

学校にテレビが来た日



テレビは、日常生活になくてはならない必需品です。各家庭に1台は当たり前で、今や1部屋に1台と言われるほど、浸透している家電製品です。本校にテレビが導入されたのはいつの頃だったのでしょうか。

荘原小学校に初めてテレビがやって来たのは、昭和34年1月16日、荘原小学校PTA創立10周年記念式典の日です。17インチの白黒テレビ1台が、荘原小学校PTAから学校へ贈呈されました。山陰地方のテレビ放送開始は、昭和34年3月。その放送開始に合わせて、学校でテレビを利用した学習を実施し、放送教育の充実によって児童の教育の効果をさらに高めようとテレビが寄贈されたのです。

テレビ購入に必要な経費は、昭和33年度中に2回（9月と12月）にわたって「テレビ基金映画会」がPTA主催で開催され、その鑑賞費をもってテレビ購入にあてられたようです。

当時5年生だった村上良子さんは、次のように日記に綴っていらっしやいます。記録（「荘原の教育」第20号）によれば、児童が初めて視聴したテレビ番組は、

「テレビ」五年 村上 良子

きょう 学校で初めてテレビを見た。みんな目を丸くして見た。
わたしも 目を丸くして見た。 学校に一つしかないテレビを
一年生から六年生まで見るので そう多くは見られない
校長先生は朝礼で 少なくとも 六台はなければ勉強はできない
とおっしゃった。 一台のテレビ でも テレビを買われて
よかったなあとと思った。

（「荘原の教育」第20号から）



3月3日、2年生が番組「おとぎのへや」で「八郎」のお話を、6年生が番組「テレビの旅」で「甲府盆地」を学習したことが記録として残っています。

また、テレビの電波受信は、松江放送局の放送開始が8月ですので、3月放送開始の鳥取局からの電波を受信していたようです。

山陰地方のテレビ放送開始と共に、テレビを学習に取り入れた学校は、どれだけあったのでしょうか。いずれにせよ、先進的な取組であったと思われます。

校舎の屋根にそびえるテレビアンテナは、当時の子ども達に新たな夢を届ける希望の塔であったことと思います。それを実現したPTAの先見性と力強さに感服させられます。

荘原地区におけるテレビ普及状況

区 分	台数 (台)	普及率 (%)
昭和34年末	66	5.7
昭和35年末	206	17.6
昭和36年末	414	35.4
昭和37年4月末	541	46.3

【「荘原の教育」第35号昭和37年7月15日から】

日本でテレビ放送開始 昭和28年2月

山陰地方でテレビ放送 昭和34年3月